



第38期 決算説明会

株式会社アインファーマシーズ(9627)

2007年6月21日

第1章：決算の説明

連結P/L

07/4期連結実績は、前期買収のメディカルハートランド(山形)がフルに寄与、更に当第4四半期に加わったダイチク(新潟)により、売上は増加したが、利益は診療報酬及び薬価改定の影響により前期を下回る結果となった。

(単位:百万円)	06/4期	07/4期	増減額	前期比(%)	
売上高	76,303	81,307	5,004	106.6	
売上総利益	10,228	10,858	630	106.2	調剤事業 5,553百万円 物販事業 607百万円 その他事業 58百万円
販管費	7,145	7,970	825	111.5	
営業利益	3,083	2,888	195	93.7	調剤事業 335百万円 アインスタッフ 61百万円 メディウェル 272百万円 DMP・MHL 154百万円 WSS 65百万円 DC・ 48百万円
売上比(%)	4.0	3.6	-		
経常利益	3,012	2,833	179	94.1	物販事業 163百万円 その他 53百万円
売上比(%)	3.9	3.5	-		
当期利益	1,215	1,010	205	83.1	
1株当たり利益(円)	104.53	89.34	15.19	85.5	

AMS(アインメディカルシステムズ)、RJ(リジョイス)、RJP(リジョイス薬局)、MHL(メディカルハートランド)
MYA(宮古アイン)、ATK(アイン東海)、DC(ダイチク)、WSS(ホールセールスターズ)

単体P/L

07/4期実績は、売上は微増ながら診療報酬改定の影響及び物販事業における不採算店舗の撤退により、増収・減益となった。

(単位:百万円)	06/4期	07/4期	増減額	前期比(%)	
売上高	51,123	51,262	139	100.3	
売上総利益	7,468	6,996	472	93.7	調剤事業 630百万円 物販事業 568百万円 その他事業 77百万円
販管費	5,493	5,571	78	101.4	調剤事業 536百万円 物販事業 64百万円
営業利益 売上比(%)	1,975 3.9	1,425 2.8	550	72.2	
経常利益 売上比(%)	1,959 3.8	1,422 2.8	537	72.6	
当期利益	924	544	380	58.9	
1株当たり利益(円)	79.03	48.18	30.85	61.0	

調剤事業(連結)

07/4期連結実績は、メディカルハートランド(山形)がフルに寄与し、またダイチク(新潟)が新たに連結対象として加わったことにより、売上は増収、経常利益は前期ほぼ横ばいで終了することができた。

(単位:百万円)	06/4期	07/4期	増減額	前期比(%)	
売上高	61,232	66,785	5,553	109.1	既存店及び 前期出店フル稼働 94百万円 新規出店 2,222百万円 DMP・MHL 2,129百万円 DC 2,037百万円 閉店及び譲渡 1,101百万円 その他 360百万円
売上総利益	6,199	6,987	788	112.7	
販管費	1,970	2,905	935	147.5	アインスタッフ 61百万円 メディウェル 272百万円 DMP・MHL 154百万円 WSS 65百万円 DC 48百万円 その他 335百万円
営業利益 売上比(%)	4,229 6.9	4,081 6.1	148	96.5	
経常利益 売上比(%)	4,214 6.9	4,104 6.1	109	97.4	
期末店舗数	218	247	29	113.3	
処方箋枚数(千枚)	6,264	6,738	221	107.6	
処方箋単価(円)	9,718	9,801	83	100.9	

物販事業(連結)

売上は、既存店及び新規出店分が閉店ロスを補うことができず、減収となった。経常利益は閉店処理により最終赤字で終了した。

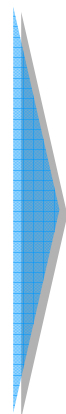
(単位:百万円)	06/4期	07/4期	増減額	前期比(%)	
売上高	14,860	14,253	607	95.9	既存店及び 前期出店フル稼働 AIN 192百万円 ATK 153百万円 新規出店 646百万円 閉店 1,406百万円 その他 114百万円
売上総利益	4,097	3,943	154	96.2	
販管費	4,367	4,204	163	96.3	
営業利益	270	260	10	-	AIN 239百万円 ATK 21百万円
売上比(%)	N.A.	N.A.			
経常利益	201	163	38	-	
売上比(%)	N.A.	N.A.			
期末店舗数	43	43	-	-	
期末延床面積 (m ²)	18,123	18,510	387	102.1	
客単価(円)	1,722	1,746	24	101.4	
客数(千人)	8,759	8,158	601	93.1	

連結B/S

グループ会社の増加に伴い、現預金等流動資産の増加及び固定資産へのれん代を計上したことにより資産が増加した。また、買収資金調達により、ネット借入金残高は14,186百万円と増加している。

(単位:百万円)

06/4期			
資産の部		負債の部	
流動資産	18,216	流動負債	23,849
現預金	3,068	短期借入金	6,250
固定資産	23,452	固定負債	6,985
		長期借入金	6,213
		資本計	10,352
資産合計	41,669	負債・資本合計	41,669



(単位:百万円)

07/4期			
資産の部		負債の部	
流動資産	21,251	流動負債	31,428
現預金	4,186	短期借入金	12,155
固定資産	28,597	固定負債	7,094
		長期借入金	6,217
		純資産計	11,326
資産合計	49,849	負債・純資産合計	49,849

財務指標

借入金残高	12,464
ネット借入金残高	9,396

財務指標

借入金残高 (前期末比)	18,373 (5,909)
ネット借入金残高	14,186

買収により借入金残高が増加しているが、買収先及びグループ会社の債権流動化などにより今後改善が望める。

資産の部

グループ会社の増加に伴い、現金及び預金が前期より1,118百万円、売掛金が1,471百万円増加している。

(単位:百万円)	06/4期	07/4期	増減額	
現金及び預金	3,068	4,186	1,118	事業規模及びグループ会社の拡大による
売掛金	6,074	7,545	1,471	
棚卸資産	4,740	5,497	757	
流動資産合計	18,216	21,251	3,035	
建物・構築物	4,491	5,072	581	グループ会社の拡大による
土地	3,280	3,815	535	
有形固定資産合計	8,330	9,788	1,458	
無形固定資産合計	6,230	9,923	3,693	
投資有価証券	2,241	2,011	230	
繰延税金資産	370	627	257	
敷金・保証金	5,897	5,735	162	
投資その他の資産合計	8,891	8,885	6	
固定資産合計	23,452	28,597	5,144	

投資総額は1,620百万円(前期比77.6%)、減価償却費は664百万円(前期比119.4%)となっている。

負債・資本の部

ダイチクの株式取得費用を短期借入金で調達した為、短期借入金が増加。また、調剤事業の規模拡大に伴い、買掛金が増加している。

(単位:百万円)	06/4期	07/4期	増減額
買掛金	12,856	14,325	1,469
短期借入金	6,250	12,155	5,905
流動負債合計	23,849	31,428	7,579
長期借入金	6,213	6,217	4
固定負債合計	6,985	7,094	109
負債合計	30,835	38,522	7,687
資本金	3,384	3,395	11
資本剰余金	3,504	3,515	11
利益剰余金	3,143	3,815	672
その他有価証券 評価差額金	324	11	335
自己株式	3	3	0
資本合計	10,352	11,326	977

買収による株式取得

利益の積上げによる

財務指標

07/4期では、営業キャッシュフローとしてのれん代償却が355百万円となっている。また、投資キャッシュフローの減少はダイチクの取得による支出が主な原因となる。

(単位:百万円)	06/4期	07/4期	増減額
営業キャッシュフロー	3,623	2,277	1,346
投資キャッシュフロー	4,351	6,676	2,325
財務キャッシュフロー	664	5,437	4,773
自己資本比率(%)	24.8	21.5	3.3
時価ベースの自己資本比率(%)	64.3	34.1	30.2
債務償還年数(年)	3.4	8.1	4.7
インタレスト・ガバレッジ・レシオ(倍)	25.6	11.5	14.1
総資産利益率(%) ROA	3.0	2.2	0.8
株主資本利益率(%) ROE	12.5	9.6	2.9
EV/EBITDA(倍)	10.9	8.6	2.3

2008/4期計画(連結)

08/4期は新規出店(調剤30店舗、物販3店舗)及びダイチク(新潟)、あさひ調剤(埼玉)が寄与(8ヶ月)することにより、売上高は前期比で129.5%と大幅増収を見込む。また経常利益・当期利益は前期比150%、183.1%と過去最高益を更新すると見込んでいる。

(単位:百万円)	07/4期 実績	08/4期 計画	増減額	前期比(%)
売上高	81,307	105,260	23,953	129.5
売上総利益	10,858	13,660	2,802	125.8
販売管理費	7,970	9,230	1,260	115.8
営業利益	2,888	4,430	1,542	153.4
売上比(%)	3.6	4.2		
経常利益	2,833	4,250	1,417	150.0
売上比(%)	3.5	4.0		
当期利益	1,010	1,850	840	183.1
一株当たり利益(円)	89.34	163.43	74.09	182.9

2008/4期計画(単体)

08/4期は、新規出店(調剤16店舗、物販3店舗)により、売上高は前期比108.8%となり、経常利益は効率化の影響及び物販事業の黒字化により前期比120%を見込んでいる。

(単位:百万円)	07/4期 実績	08/4期 計画	増減額	前期比(%)
売上高	51,262	55,600	4,338	108.5
売上総利益	6,996	7,750	754	110.8
販売管理費	5,571	5,875	304	105.5
営業利益	1,425	1,880	455	131.9
売上比(%)	2.8	3.4		
経常利益	1,422	1,750	328	123.0
売上比(%)	2.8	3.1		
当期利益	544	800	256	146.8
一株当たり利益(円)	48.18	70.67	22.49	146.7
年間配当金(円)	18.00	20.00	2.00	111.1

第2章：経営の現状と展望

Challenge1000の検証

05/4期に策定した中期3カ年計画Challenge1000について、全体の進捗状況を検証した。07年は、診療報酬及び薬価の改定により売上、利益共に低迷。08/4期予想では調剤部門の売上、利益は計画を上回っているものの、物販事業が売上、利益共に未達の為、トータルでの利益部門が未達となる。

(単位:百万円)	06/4期計画		06/期実績		07/4期計画		07/4期実績		08/4期計画		08/4期実績(予)	
	調剤	物販	調剤	物販	調剤	物販	調剤	物販	調剤	物販	調剤	物販
売上高	78,500		76,303		92,100		81,307		106,200		105,260	
	61,386	16,921	61,232	14,860	69,965	21,538	66,785	14,253	77,767	27,150	89,328	15,634
売上総利益	10,836		10,228		12,813		10,858		15,619		13,660	
	6,586	4,412	6,199	4,097	6,347	5,556	6,987	3,943	7,199	6,910	9,180	4,525
売上比	10.7	26.1	10.1	27.6	9.1	25.8	10.5	27.7	9.3	25.5	10.3	28.9
販管費	7,376		7,145		8,213		7,970		9,919		9,230	
	2,265	4,224	1,970	4,367	2,213	5,149	2,905	4,204	2,163	6,308	3,940	4,429
売上比	3.7	25.0	3.2	29.4	3.2	23.9	4.3	29.5	2.8	23.2	4.3	28.3
営業利益	3,460		3,083		4,600		2,888		5,700		4,430	
	4,321	187	4,299	207	4,134	407	4,081	260	5,036	602	5,239	95
売上比	7.0	1.1	6.9	-	5.9	1.9	6.1	-	6.5	2.2	5.7	0.6
経常利益	3,540		3,012		4,500		2,833		5,600		4,250	
	4,310	213	4,214	201	4,134	412	4,104	163	5,036	607	5,182	139
売上比	7.0	1.3	6.9	-	5.9	1.9	6.1	-	6.5	2.2	5.7	0.9
総店舗数	271		261		311		290		349		409	
	222	49	218	43	255	56	247	43	286	63	363	46

Challenge1000検証

- ▶ 01年4月期から始まった中期計画Victory2005は、売上19,572百万円(計画20,780百万円)、経常利益871百万円(790百万円)から最終年度05年4月期は売上57,092百万円(40,200百万円)、経常利益3,082百万円(2,104百万円)と最終年度では計画を大幅に上回って終了した。これを受け、06年から始まった新中期計画Challenge1000は、物販の低迷を調剤部門が吸収できず、最終年度である08年は利益において計画未達としている。
- ▶ 安全性については、薬剤教育の充実や調剤過誤防止システムの整備、投入により重篤な調剤過誤は皆無となっている。
- ▶ アイズ&トルペについては、条件が揃えば確実に収益が上げられる体制となりつつある。しかし、この業態の出店ロケーションの確保が難しく出店スピードが上がらず、計画未達となる。

今日のトピックス

調剤報酬改定の影響

M & Aの成果と今後

調剤事業について

物販事業について

GE事業について(ホールセールスターズ)

調剤報酬改定の影響

06年4月に施行された調剤報酬の改定により、当グループでは技術料として320百万(2.7%)の影響を受けた。計画では3%ダウンを見込んでいた為、最小限に抑えることができた。

(単位:百万円)

	06/4期実績	07/4期実績	差 額	増減率(%)
調 剤 基 本 料	2,425	2,489	64	2.6
調 剤 料	6,669	6,375	294	4.4
薬 剤 情 報 提 供 料	645	489	156	24.2
薬 剤 服 用 歴 管 理 料	920	1,132	212	23.0
服 薬 指 導 加 算	681	537	144	21.1



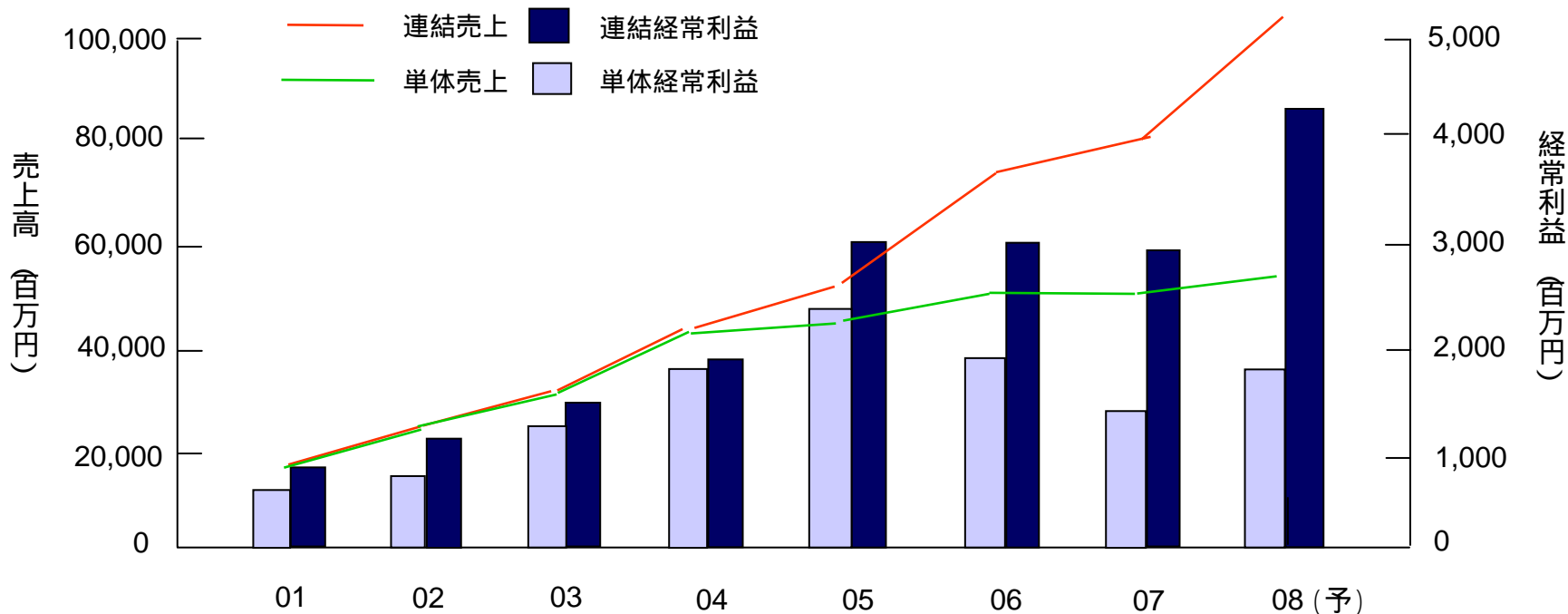
技 術 料 合 計	連 結	11,832	11,512	320	2.7
------------------	------------	---------------	---------------	------------	------------

注:既存店ベースで改定前と改定後の技術料収入を比較。

M & Aの成果 年度別推移

	01/4期	02/4期	03/4期	04/4期	05/4期	06/4期	07/4期	08/4期
改定		診療報酬改定 1.3% 薬価改定 6.3%		診療報酬改定 ±0 薬価改定 4.2%		診療報酬改定 3.0% 薬価改定 6.7%		
M&A		今川薬品合併 02/11月		アイン東海 04/5月 アインメディカルシステムズ 04/12月	リゾイス 05/4月 リゾイス薬局	メディカルパートナーズ 06/4月 ダイチク 07/1月		あさひ調剤 07/6月

売上・利益の推移



主要子会社のP/L

子会社及び連結の07年実績、08年計画のP/Lを比較した。各社とも08年計画では前期と比べほぼ横ばいとなるが、07年1月に買収したダイチク、及び07年6月に買収したあさひ調剤が寄与し、売上は1,000億円を超え、利益は過去最高益を更新する見込み。

(単位:百万円)	アイン東海		アインメディカルシステムズ		リジョイスグループ		メディカルハートランド		ダイチク		あさひ調剤		その他	
	07/3期実績	08/3期計画	07/1期実績	08/1期計画	07/3期実績	08/3期計画	07/3期実績	08/3期計画	07/3期実績	08/3期計画	07/7期実績	08/3期計画	07/4期実績	08/4期計画
売上高	5,394	6,134	11,120	12,181	7,585	7,726	2,265	2,340	2,037	9,000	-	10,800	1,907	3,447
売上総利益	587	893	1,007	1,045	638	641	227	210	640	966	-	1,134	463	815
販管費	583	810	409	429	229	241	154	130	49	174	-	434	405	643
営業利益	4	83	598	615	408	400	73	79	590	791	-	700	58	171
経常利益	22	73	593	626	416	402	88	68	593	800	-	650	48	168
当期利益	89	17	343	321	238	244	60	36	281	480	-	430	37	106

主要子会社のB/S

子会社及び連結の07年実績、08年計画のB/Sを比較した。連結の08/4期計画では、あさひ調剤を買収した後もネット借入金が前期とほぼ変わらず、大きな影響は無い。

(単位: 百万円)

	アイン東海		アインメディカルシステムズ		リジョイスグループ		メディカルハートランド		ダイテク		あさひ調剤		その他	
	07/3期実績	08/3期計画	07/1期実績	08/1期計画	07/3期実績	08/3期計画	07/3期実績	08/3期計画	07/3期実績	08/3期計画	07/7期実績	08/3期計画	07/4期実績	08/4期計画
流動資産	1,650	1,515	2,196	2,400	2,282	2,485	649	575	2,353	2,535	-	7,135	631	800
現金	180	150	565	1,100	585	1,130	93	100	536	1,150	-	4,900	213	300
固定資産	1,306	1,290	2,803	2,980	554	630	394	590	1,201	1,405	-	1,500	244	225
資産合計	2,956	2,805	5,000	5,380	2,836	3,115	1,044	1,165	3,555	3,940	-	8,635	875	1,025
流動負債	2,518	2,350	2,543	2,543	1,501	1,530	467	550	1,441	1,570	-	3,300	484	520
短期借入金	1,506	1,350	111	111	0	0	10	45	0	0	-	0	90	100
固定負債	377	380	399	399	2	10	104	105	282	60	-	850	125	135
長期借入金	299	300	284	284	0	0	95	95	223	0	-	0	116	120
負債合計	2,896	2,730	2,943	3,000	1,503	1,540	572	655	1,724	1,630	-	4,150	610	656
純資産	59	75	2,057	2,380	1,333	1,575	472	510	1,831	2,310	-	4,485	265	370
純資産・負債合計	2,956	2,805	5,000	5,380	2,836	3,115	1,044	1,165	3,555	3,940	-	8,635	875	1,025
自己資本比率	2.0	2.6	41.1	44.2	47.0	50.5	45.2	53.0	51.5	58.6	-	51.9	30.3	36.1
ネット借入残高	1,625	1,500	-	-	-	-	12	40	-	-	-	-	-	-

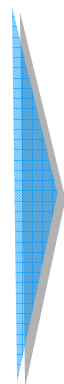
連結P/L

08/4期は、当社単体、子会社で売上高はほぼ同等となる。しかし、当社単体は教育研修、システム配備、支店経費などの負担により、利益面で子会社合計に劣る。また、08/4期当社連結のれん代は、約7億円を見込んでいる。

(単位:百万円)

08/4期 当社単体(予)	
売上高	55,600
売上総利益	7,750
販管費	5,875
営業利益	1,880
経常利益	1,750
当期利益	800

08/4期 子会社(予)	
売上高	51,627
売上総利益	5,702
販管費	2,859
営業利益	2,838
経常利益	2,785
当期利益	1,634



(単位:百万円)

08/4期 当社連結(予)	
売上高	105,260
売上総利益	13,660
販管費	9,230
営業利益	4,430
経常利益	4,250
当期利益	1,850

07/4期連結B/S (現状)

企業買収では、買収金額から純資産を引いたものを、のれん代として無形固定資産へ計上するため、資産合計は増加するが純資産は増加せず、自己資本比率は低下する。

(単位:百万円)

07/4期 当社連結			
資産の部		負債の部	
流動資産	21,251	流動負債	31,428
現預金	4,186	短期借入金	12,155
固定資産	28,597	固定負債	7,094
		長期借入金	6,217
		純資産計	11,326
資産合計	49,849	負債・純資産合計	49,849
07/7期 あさひ調剤(予)			
資産の部		負債の部	
流動資産	6,827	流動負債	3,235
現預金	3,601	短期借入金	0
固定資産	1,628	固定負債	853
		長期借入金	0
		純資産計	4,366
資産合計	8,455	負債・純資産合計	8,455

(単位:百万円)

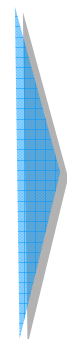
当社連結(あさひ調剤買収後)			
資産の部		負債の部	
流動資産	28,078	流動負債	42,663
現預金	7,787	短期借入金	20,155
固定資産	33,858	固定負債	7,947
		長期借入金	6,217
		純資産計	11,326
資産合計	61,936	負債・純資産合計	61,936

08/4期連結B/S (予想)

08/4期末の予定として、短期借入金は、グループの債権流動化及び現預金にて7,938百万円を返済し、12,217百万円となる。固定資産にのれん代(700百万円)、減価償却(700百万円)、設備投資(1,900百万円)を加え、当期計画利益(1,850百万円)を純資産に計上し、B/Sの再構築をすることで財務の改善を図る。

(単位:百万円)

当社連結(あさひ調剤買収後)			
資産の部		負債の部	
流動資産	28,078	流動負債	42,663
現預金	7,787	短期借入金	20,155
固定資産	33,858	固定負債	7,947
		長期借入金	6,217
		純資産計	11,326
資産合計	61,936	負債・純資産合計	61,936



(単位:百万円)

08/4期 当社連結(予)			
資産の部		負債の部	
流動資産	21,270	流動負債	34,725
現預金	4,130	短期借入金	12,217
固定資産	34,358	固定負債	7,947
		長期借入金	6,217
		純資産計	12,956
資産合計	55,628	負債・純資産合計	55,628

財務指標の推移

06/4期以降3期を比較し、企業の安全性を示す指標を列挙した。M & Aにより財務体質の悪化が懸念されるが、優良企業の買収(選定基準の適正化)及び債権の流動化により、財務状況は改善している。

	06/4期	07/4期	08/4期(予)
自己資本比率(%)	24.8	21.5	23.3
流動比率(%)	76.4	67.6	62.1
総資産利益率(%) ROA	3.0	2.2	3.3
株主資本利益率(%) ROE	12.5	9.6	14.3
DEレシオ	0.9	1.2	1.0
EV/EBITDA(倍)	10.9	8.6	6.9

今後の取り組み

日本薬剤師会が発表した直近の保険調剤動向によると、処方箋受け取り率は54.8%まで拡大している。当業界では、限りある優良物件に薬局各社が集中するため、地価・家賃等の高騰で出店コストがかさみ、店舗利益は低下傾向にある。

このような状況での新規出店には限りがあり、急激な売上・利益の拡大は難しい。

一方、M&Aに関しては、すでに出店した案件を精査して取り組むため、将来的なリスクは医療制度の大幅な変更などに絞られる中で、売上・利益の拡大を図ることが可能。

統合後はスケールメリットを生かしての仕入れコスト削減や、システム化などのノウハウ注入によりグループ全体の体質強化も図られる。

買収対象となる中小の調剤薬局企業は、度重なる薬価改定、調剤報酬改定、薬剤師不足などにより、将来的な収益確保に不安を感じているため、現在も多数の案件が持ち込まれている。

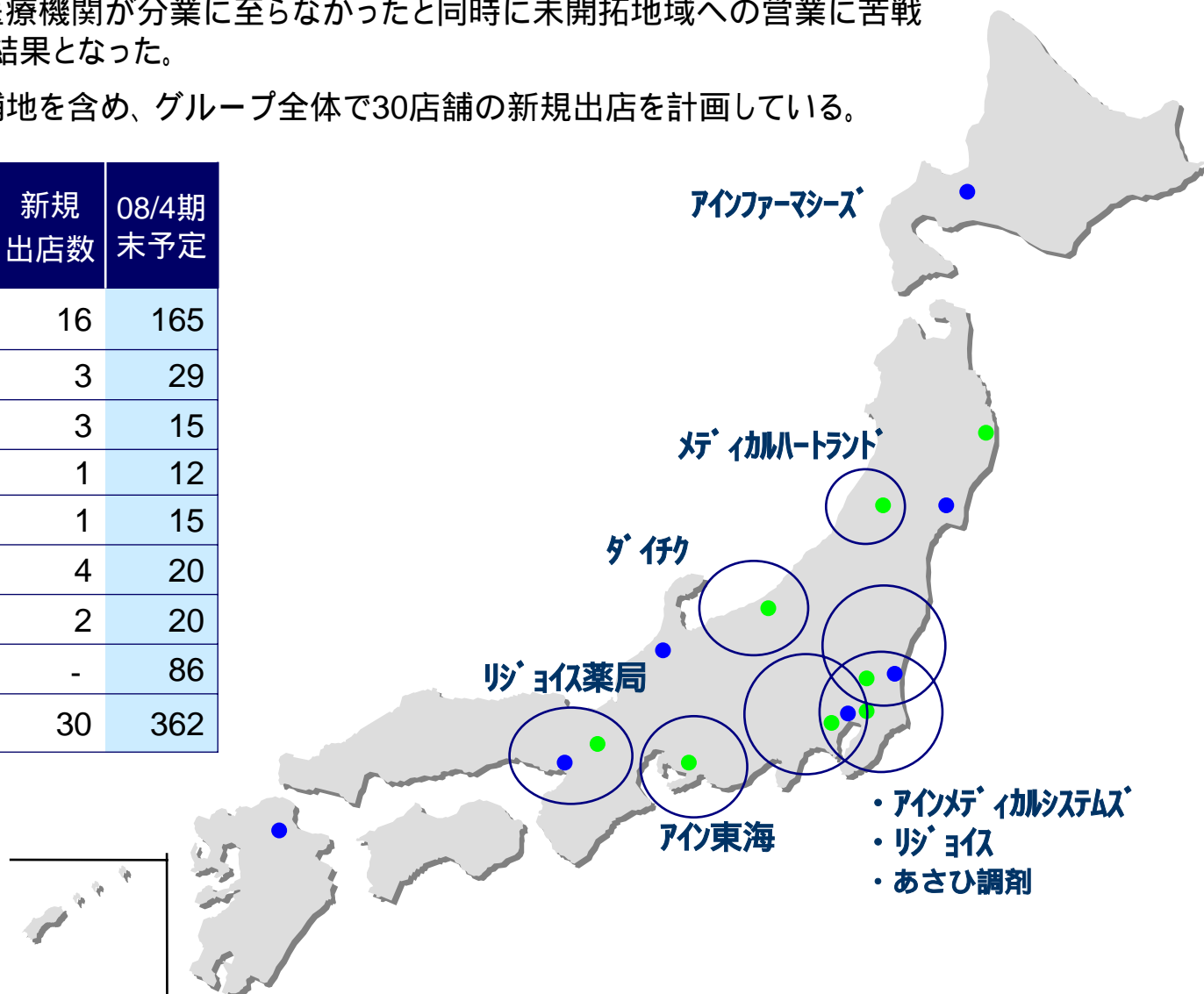
これらのことから、今後も優良企業のM&Aには積極的に取り組みたい。

調剤事業について 出店戦略

前期は、出店対象の医療機関が分業に至らなかったと同時に未開拓地域への営業に苦戦した為、計画を下回る結果となった。

今期は、前期出店候補地を含め、グループ全体で30店舗の新規出店を計画している。

	新規 出店数	08/4期 未予定
アインファーマシーズ	16	165
アインメディカルシステムズ	3	29
アイン東海	3	15
リゾイス	1	12
リゾイス薬局	1	15
メディカルハートランド	4	20
ダイク	2	20
あさひ調剤	-	86
合計	30	362



効率化の検証

07/4期は、システムの強化と人員の適正配置により、既存店の薬剤師は66名減、事務員も43名減となり、期中の労務費削減額は150百万円(通期に換算すると約500百万円)となった。

昨年11月に本格稼動が始まった本部システム(AIMS)では、オンラインによる在庫集中管理で月平均在庫が121百万円削減された。(06/4月1,363百万円 07/4月1,242百万円)

また、システム化により効率化が実証されるとともに、調剤ミスも減少し安全性向上も確認することができたため、今期より順次グループ会社へ波及させる。

- PDAによる調剤システム(ファインシステム)
- OCRまたは2次元コードによる処方箋入力システム
- 自社開発の電子薬歴システム(フロントシステム)
- 本部管理システム(AIMS)

全店導入済み

19店舗に導入済み

今期35店舗に導入予定

昨年11月に本格稼動



ファインシステム



OCR入力装置



電子薬歴システム

07/4期 物販事業の実績検証

新MDの展開、高粗利政策により、利益体質の改善を行った。上期に不採算店舗である名古屋、大阪の2店舗閉店により、下期は経常利益で黒字化を達成したが、通期では閉店ロスを吸収できずに最終赤字で終了した。

(単位:百万円)

	06/4期 実績	07/4期 予算	07/4期 実績		予算比 (%)	前期比 (%)
			上期	下期		
売上高	12,275	12,723	11,707 6,148 5,558		92.0	95.4
粗利率 (%)	21.3	25.3	24.2 22.7 25.9		1.1	+ 2.9
売上総利益	3,282	3,797	3,368 1,662 1,705		95.0	100.9
販売管理費	3,591	3,793	3,601 1,867 1,733		98.0	105.6
営業利益	308	4	233 205 28		-	-
経常利益	250	64	146 171 26		-	-

トルペ プロトタイプ(化粧品専門)の展開



きもち・からだ・きれい

Face

Body

Heart



Total
Beauty

広く深い新鮮な品揃え

専門的なアドバイス

快適な空間

アインズ&トルペはこれまでのドラッグストアと一線を画し、ファッション性の高い20代から30代の女性をターゲットとし、大都市を中心に200坪規模のドラッグ&コスメティックに特化したセレクトショップを出店してきた。

しかし、アインズ&トルペを出店できる立地は限られているため、高速出店が可能な業態の確立が必要であり、現状店舗よりもさらに高い集客力で好立地の物件条件(店舗面積50~80坪)に合わせた店舗コンセプト、商品構成のトルペプロトタイプを計画し、今期中に1号店を首都圏に出店する。

GE事業について WSSの成長戦略

08/3期は前期同様大きな伸びに至らないが、厚生労働省も2012年には数量ベースで30%の普及目標を発表しており、来年以降大幅な増加が期待できる。

▶ 新規取引先獲得

- ・DPC病院
- ・グループ調剤薬局の応需先医療機関(病院)
- ・グループ外調剤薬局への販売

▶ グループ調剤薬局のGE医薬品使用促進

- ・成功事例の共有
- ・患者啓蒙ツールの配信(DVD上映・GE変更希望カード・パンフレット配布等)
- ・メーカーによる勉強会実施

▶ 既存取引先への推奨品導入

- ・調剤薬局・応需先との推奨品共有
- ・GEメーカーとのタイアップ

08/3期計画 (WSS)

08/3期の計画は、増収増益を見込む。売上の内訳は、医薬品483百万円、調剤機器その他として1,191百万円、売上総利益の内訳は医薬品120百万円、売上総利益79百万円となっている。

(単位:百万円)	07/3期 実績	08/3期 計画	前期比 (%)
売上高	408	1,675	410.6
売上総利益	75	200	266.2
販売管理費	65	109	167.0
営業利益	9	90	957.3
経常利益	11	91	781.0